

平成 30 年度安全登山指導者研修会

(東部地区) 報告



開校式 国立登山研修所 宮崎所長挨拶

9 月 15 日(土)~17 日(月)の 3 日間にわたり、埼玉県比企郡小川町の県立小川げんきプラザ[※]及び金勝山において平成 30 年度の安全登山指導者研修会(東部地区)が開催された。昨年までは中高年登山者の事故・遭難防止を主眼とする「中高年安全登山指導者講習会」という名称で行われていたが、本年からより広い登山者層の安全のために名称が改正された。また参加者が、受講するだけでなく自発的かつ積極的に指導者としての学びを深め、さらにそれを自らの地域・組織に生かしてもらえよう、「講習会」から「研修会」へと形式も変更された。

参加者は山岳会の指導的役割にある会員をはじめ、高校の部活動顧問の教職員、山岳救助活動に従事する各県警察・消防関係者、山岳ガイド、行政の野外活動事業者、登山を企画する旅行会社社員、といった多岐にわたる分野から応募があった。また年齢層もベテランから社会人になってまだ数年の若手まで幅広い年代から参加があり、全体では定員を超える 58 名の出席となった。

研修内容は「登山界の現状と問題点」「読図・ナビゲーション」「山のファーストエイド」を中心とした内容で企画した。特に昨今の遭難事例で非常に多い要因となり、埼玉県内でも事故原因のトップにあがる「道迷い遭難」について、講義をはじめ実習・実技においても「読図・ナビゲーション」がメインテーマとされた。また埼玉県岳連主導による研修として、「山の応急手当(ファーストエイド)」に加えおそらくこれまでの講習会では実施されなかった、夜間実際に登山コースを歩いていただく「道迷い体験」を実施した。

第一日目は開会式後、講義Ⅰとして北村憲彦氏(名古屋工業大学教授、国立登山研修所専門調査委員長)による「登山の現状と安全登山に向けた指針」、引き続き講義Ⅱとして村越真氏(静岡大学教授、国立登山研修所専門調査員)による「道迷い防止の為のナビゲーション」がそれぞれおこなわれた。実

習が夕食後 19 時より屋外実習として「道迷い体験」。実際には県内講師の先導によりコースを歩いていただき、各ポイントを地図上にマークしてもらう方式でおこなった。また合わせて緊急避難(ビバーク)訓練も実施した。

二日目は前夜の「道迷い体験」コースを実際に再度歩いてもらいルートの確認と答え合わせ。暗闇の視界も展望もない状況下で方角と距離感、実際の地形から現在地を判別するのは大変困難だとの声も聞かれた。その後続けて村越氏による実地研修「磁石と高度計と地図によるナビゲーション実習」をおこなった。昼食後は午後の時間をすべて使って講義Ⅲ及び実地研修として、恵秀彦氏(埼玉県山岳連盟参与)による「山の応急手当」。応急手当、負傷者の一次搬送・緊急収容をそれぞれの項目ごとに講習し、それを班毎に分かれ実地研修するという方式で繰り返した。最後は応急手当をシミュレーション形式で実施して、各問題点を検証し終了となった。

最終日はまず講義Ⅳとして飯田雅彦氏(元埼玉県警察山岳遭難救助隊副隊長)により「埼玉県における山岳遭難の実態」を時に生々しい現場の実態を交えながら実際の事例や問題点をお話しいただいた。最後は北村・村越両氏による講義を交えた司会により、研修会全体を通した内容を研究討議(班毎)によって整理し、全体会議で発表することで内容の理解を深め、指導の目的や手段、手法について話し合い、修了証授与・閉会となった。

今回名称が変わった最初の研修会ということで、埼玉岳連としても手探りのところがあったが、主管団体として今後につながる研修会となるよう尽力させていただいた。幸いにも講師の皆様、参加者の皆さんとも大変熱心で、非常に内容の濃い 3 日間を精力的にこなしていただきましたことを心より感謝申し上げます。そして無事研修会を終了できましたことを、この場をお借りしてすべての関係者の皆様へ御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(埼玉県山岳連盟 理事長 天野 賢一)



夜間行動の「道迷い体験」



大高取山 イベント参加者・スタッフの皆さん

2018「山の日」 “大高取山”報告

開催期日:2018年9月1日

開催場所:越生・大高取山

参加者:一般参加・1名、個人会員・1名、岳連会員・52名、支援スタッフ・25名、御来賓・新井町長、(池田産業観光課長)計2名 総計81名

後援:日本山岳・スポーツクライミング協会、日本山岳会 埼玉支部、越生町

協力:ICI石井スポーツ店、法恩寺、ヤマケイオンライン、片田多加世(バンダナデザイン)

2018「山の日」実行委員会 全スタッフ

実行委員顧問:野井 篤

実行委員長:相澤 重夫

実行副委員長:増田 修、堀江 伸子、山口 新二

実行委員:石倉 昭一、天野 賢一、松本 敏夫、岩武 成秋、高橋 正雄、小茂田 利孝、細谷 亜希子、村越 百合子、吉岡 登規子、八木 滋、筒井 美和子、尾久土 樹里、山名 桃代、小林 美珠穂、長谷川 風、渡邊 香音、小淵 佑依、(加藤 富之)

事務局 長:岩井田 正昭、

事務局 会計:塩谷 壽子 文責 岩井田 正昭

行動記録:

8月31日

18:00ごろ スタッフ10名で「ゆうパーク」にてテント泊の予定は大雨の為急遽、ロッジに移動する。100名分の資料作成に取り掛かり深夜終了、後豪雨となり開催が危ぶまれる。役員により明日の行動について協議するが中止も想定し、明朝の天候次第により行動を中止解散、登山行動の場合は1案「無名戦士の墓」、2案「西山高取」、3案「大高取山」までの行動をCL+L間で決める、3班とも入山、下山は同一行動との結論を出す。深更雷雨に変わる。

9月1日

06:00 前泊組はポケットパーク着、全員で設営の準備。

07:00 後発のスタッフがほぼ出そろそろ。小雨となり幾分明るさが出てきた。予定通り開会式は行いうが、雨後の登山道状態から第1案とし現地状況次第で第2案、第3案を考慮。現地ですべてCL+Lで判断とする。

07:30 受付開始、参加者には計画変更を伝え参加料は徴収せず、全員に参加記念バンダナ配布。

07:45 役場から池田課長が来訪、間もなく町長が来られるとの情報。

07:50 新井越生町長が来訪。石倉会長、相澤実行委員長、天野理事長が対応。

08:00 受付終了 73名中、54名が受付(19名不参加)

08:05 定刻に遅れて5分後に司会(天野県岳連理事長)により開会。開会の言葉(相澤実行委員長)、主催者挨拶(石倉県岳連会長)、来賓挨拶(新井越生町長)、司会より実行委員役員紹介、閉会の言葉(松本日本山岳協会埼玉支部長)、諸連絡(相澤実行委員長)

08:20 スタート直前に新井町長からサプライズの「越生町特産の梅」の贈呈があり、スタッフにより参加者全員に配布された。(大変好評だった)

08:30 A班から順次出発、雨はやみ明るくなり元気に行動開始した。

※本部連絡員として岩井田・塩谷が待機する。

10:20 頃 無線連絡あり、「西山高取」まで登山し、全員で下山の連絡あり。

11:20 「西山高取」迄登頂して、全員で元気よく戻ってきた。

11:30 全員で集合写真撮影後、実行委員長から解散宣言をして終了した。

12:10 清掃の後観光案内所に謝意伝え解散した。

文責 岩井田正昭



野井顧問から当地の歴史について説明

10/5-7 「福井しあわせ元気国体」 速報



少年男子：百合草 碧皇選手がリード完登賞・ボルダ全課題一撃完登賞を受賞

成年男子：波田 悠貴，本間 大晴，監督：小茂田利孝
 成年女子：加島 智子，坂井 絢音，監督：内海 信
 少年男子：百合草 碧皇，鶴 隼斗，監督：横内 鉄郎
 総監督：天野 賢一

~~~~~  
 競技結果

|                |    |         |    |
|----------------|----|---------|----|
| 成年男子リード        | 1位 | 成年男子ボルダ | 1位 |
| 成年女子リード        | 7位 | 成年女子ボルダ | 9位 |
| 少年男子リード        | 3位 | 少年男子ボルダ | 2位 |
| 天皇杯第2位・皇后杯第12位 |    |         |    |



初めてのトレーナー帯同、支援戴いた神田彩子さん

## 福井しあわせ元気国体 2018 山岳競技

福井国体は惜しくも天皇杯4連覇を3点差という僅差で逃す結果となりました。しかし本国体への少女の進出無しで、この成績は大健闘と言えるかもしれません。特に成年男子のリード、ボルダリング両種目優勝は圧巻でした。少年男子もリード3位、ボルダリング2位の大活躍を見せ、特に百合草選手のリード完登、ボルダリング全課題1撃完登は見事でした。今回は初めてトレーナーも帯同するなど、チーム力の向上も図りました。来年は天皇杯奪還を目指してがんばります！

総監督 天野 賢一

## 73th 国体関東ブロック茨城大会 レポート

「2つ涙とガッツポーズ」

期 日：平成30年7月28日 29日 鉾田市

会 場：鉾田総合公園体育館

選 手：成年女子 加島 智子・坂井 絢音

少年女子 曾我 綾乃・川端 美央

少年男子 百合草 碧皇・鶴 隼人

ご存知の方も多いと思いますが、国体はIFSCの競技規則をベースにした独自のルール(国体山岳競技規則)に基づいて競います。リード競技は同じチームの2選手が同時に登り(ブロック大会では行いません)、ボルダリングもチーム単位で複数のボルダーを同時に登ります。一定の制約はあるものの、競技中のアドバイスも相談も許されていて国体の面白さはそのチーム戦であるからこそとも言えます。またブロック大会は、選手たちにとって「子」⇔「親」・「選手」⇔「所属チーム」の関係性に、「選手」⇔「県の知らない大人たちの熱気」が加わり、はじめての選手にとっては「さまざまなプレッシャー」を感じてとても緊張する競技会であることも、経験させていただきました。

少年女子は惜しくも本国体への通過はなりませんでした。成年女子はそれぞれの選手がボルダリング、リードともにお互いのミスをカバーしあいながら東京、茨城に続く3位で通過。少年男子は初日のリード競技で出遅れましたが、2日目のボルダリング競技で、東京・千葉・茨城を逆転して本国体への切符を受け取ることができました。今回はチーム戦であったからこそ勝ち残れた大会でもあったと感じています。また関東ブロック茨城大会は、2つの涙とガッツポーズが印象に残った大会でもありました。

| 本国体通過県 | 少年女子     | 少年男子 | 成年女子 |
|--------|----------|------|------|
| 1位     | 茨城県      | 神奈川県 | 茨城県  |
| 2位     | 東京都      | 栃木県  | 東京都  |
| 3位     | 神奈川県     | 埼玉県  | 埼玉県  |
|        | 少年女子※埼玉県 | 5位   |      |

## 【帯同記録】

7月27日 埼玉チームは川口・幸手・川越を起点として3台のクルマで、霞ヶ浦を構成する北浦湖畔の宿泊先へ到着。東京・神奈川・栃木チームと同宿となる。

7月28日 1日目 埼玉少年 Boys はリード競技でデビュー戦を飾るも惨敗(5位)。

7月29日 2日目のボルダリング競技、競技順は5番目となる。課題は前半2課題・後半2課題の計4課題。前半と後半の間は一度コルゲーションに戻り5分間の

ウェアリングとなる。歓声でどのチームが完登したか否かは察することができるものの、限られた情報のコールゾーン内で考えることは、他チームの動向を気にせず、とにかく目の前の課題を一つづつ落としていくしかないという事。さ、いくぞ!で、前半はチーム2top(全完はチーム4topとなる)。こ、これは……(ダメかな)。

5分間のウェアリングタイム中は休息と後悔が1分。愛知県代表として本国体に出場経験もある百合草選手が口を切った。「僕たち次の課題は絶対に登りますから」。汗で全身ベトベトになった少年 Boys の諦めない4つの目ん玉に、たったの3分間のマッサージの手の力が入った。チーム4top 目指して後半ボルダーのスタート。二人は精一杯手を伸ばし、あるいはランジ(ジャンプ)して頑張った。結果4top ならずの3top。

日頃冷静な鶴選手も3課題目のランジからのtopで、「思わずガッツポーズしちゃいました」と照れくさそうに言う(全選手で完登者は2名だけ)。ザル待つ。どうも埼玉含めた3チームが並んでいるらしい。スーパーファイトという言葉も出てきたが、結果は3位。本国体へと進むことが出来た。選手と大人達の歓声の中で、塩谷さんが涙ぐんでいる。以前「私はね、赤城国体のとき選手で出ていたの。そりゃ一生懸命頑張ったわよ。だからね、関東は選手の応援に行くの」そんなことを聞いていた。代表として競い勝ち抜く重圧感のようなものは、「その時」「その場」を経験したものではないとわからない。自分も思わず胸が熱くなってしまった。

また、3チームが本国体へと進む中で、進めなかった曾我選手が涙している。関東ブロックは全国でも有数の激戦区であり、レベルも高い。また次、予選から気を緩めず来年も頑張ってもらいたい。2ヶ月後の「福井しあわせ元気国体」まで、選手たちは次の競技会に向けて、自身も適度な緊張感を感じながら選手たちと練習に励みます。最後になりましたが、応援・声援をいただきました関係者の皆さまにお礼を申し上げます。

「福井しあわせ元気国体」  
少年男子監督 横内 鉄郎

## 平成30年9月理事会 報告

9月12日(水)午後7時30分～ 北本市中央公民館

### 出席

田中名誉会長、石倉会長、相澤副会長、天野理事長、瀬藤(遭対)、土屋、横内(競技)各副理事長、内海(強化)、増田(自然)、山際(海外)、岩井田(広報)、笠原(個人)各委員長

山口(UD)、堀江(桜草)、塩谷(大宮)、小高(アルム)、小久保(壁稜)、長谷川(熊谷)、計良(東部)、詫摩(エコー)、

岡野(代/蓮田)、小茂田(高体連)、道浦(加須 SCC)、矢萩(B7)、富士田(山あるき)、鈴木(山塾)、岩田(岳稜)、高橋(五十雀)、浅井(TM)、秋元(彩岳)、伊藤(防医大)、沼田(草加)、茅根(山旅)、新井(秩父)各理事、加藤事務局長 計:33名

### 1 開 会

石倉会長、田中名誉会長 挨拶

### 2 報 告

- ①7/28-29 関東ブロック大会について  
少年男子・成年女子関東突破茨城県鉾田市
- ②8/11-13 JOCジュニア・オリンピック大会について
- ③9/1 「2018「山の日」イベント」について
- ④9/8-9 海外登山/高度順応体験登山について

### 3 協 議

- (1)第73回国体・福井国体について  
・10月5日(金)～7日(日) 福井県池田町  
・参加選手・監督・支援スタッフについて  
成年男子:波田悠貴、本間大晴、監督:小茂田利孝  
成年女子:加島智子、坂井絢音、監督:内海 信  
少年男子:百合草碧皇、鶴 隼斗、監督:横内 鉄郎  
総監督 :天野賢一、支援スタッフ伊藤 良(高体連)、  
帯同トレーナー神田 彩子
- (3)「安全登山指導者研修会」参加者について  
参加者状況 参加者60人+スタッフ28人=88人
- (2)9/15-17「安全登山指導者研修会」について  
蕨市山岳連盟の意見について  
応募要項が判りにくいので申請基準を明確に。  
他意見について ハードルを下げていただきたい。
- (4)「ジュニア育成事業補助金」について
- (5)「チーム・ファントレイルズ」規約について 「加盟承認」
- (6)第32回オリンピック競技大会(2020/東京)  
競技ボランティアの推薦について
- (7)カレンダー2019 事業 進捗状況について
- (8)埼玉県山岳連盟の名称変更・法人化について
- (9)その他  
トラン関係:県岳連 30人スタッフを募集について

### 4 各部からの報告等

#### ①指導委員会

平成30年度指導員養成講習会について  
9/30 机上講習会、10/20-21 登攀、12/22-23 冬山

#### ②競技委員会

9/22-23 第1回小学生リト`競技 岸和田  
10/5-7 福井しあわせ元気国体2018  
11/11 第5回 関東小中学選抜クライミング  
選手権大会(栃木大会)  
11/17-18 Fun Trail 50&100K

11/25 第31回 県民総合体育大会「コバトリート  
クライミングカップ 2018」

12/22-23 第9回全国高等学校選抜スポーツクライミング  
選手権大会

### ③選手強化委員会

9/21 埼玉県選手結団式・壮行会さいたま会館

9/30 福井国体出場選手強化練習会, 壮行会

10/4 監督会議 福井県

10/5-7 第73回国体・福井国体 福井県池田町

11/13 福井国体 解団式・表彰式さいたま会館

11/11 第5回関東地区小中学校クライミング選手権  
大会 栃木県壬生町

12/23-24 第9回全国高等学校選抜クライミング選手権  
大会 加須

### ④遭難対策委員会

12/8-9 冬山講習会

### ⑤自然保護委員会

8/1~ クリーン登山集計中

8/16 自然保護常任委員会 岸記念体育会館

8/25-26 関東地区自然保護交流会

9/1 「山の日イベント」大高取山 参画、実施

11/23-25 JMSCA 自然保護委員会指導員総会  
「小川中央大会」主管小川げんきプラザ

### ⑥海外登山委員会

11/13 講演会「花谷泰広氏 講演会」

ソニックシティ 905 号室

h31/8 中 2019 ヒマラヤ登山隊 : イント・ラダック カン・

ヤツェ 6401m I 峰は登攀対象ルート、II 峰

はトレッキングルートの2隊構成

⑦ジュニア委員会 <高岡ジュニア委員長>

来年の冬の大会(今までの安達太良山)を検討

### ⑧広報委員会

10/31 「岳連報」第62号発行 8ページ 山の日、  
安全登山研修会、73 国体報告 他

10/10 編集委員会

### ⑨企画委員会

11/17-18 第4回 FTR100&FT50 開催決定

### ⑩個人会員委員会

9/8-9 海外登山委員会: 富士山 会員2名参加

9/26 初級沢登り机上講習: 桜木公民館 5 階

9/30 初級沢登り実技講習山行: 中津川大若沢

11/17 初級登攀机上講習: 桜木公民館 5 階

11/18 初級登攀実技講習山行: 阿寺の岩場

⑪事務局 <加藤事務局長>

関東の岳連の「70 周年記念式典・祝賀会」予定

11/10・土 東京都山岳連盟・12/8・土 栃木県山岳  
連盟・12/15・土 山梨県山岳連盟、会員証の発行

## 「平成30年度・クリーン登山」報告書

平成30年9月30日

主 催: 埼玉県山岳連盟

主 管: 自然保護委員会

環境月間に自然保護委員会主管にて『埼玉県・関  
東ふれあいの道及び県立自然公園』クリーン登山を実  
施いたしました。

期間 5月15日~6月30日: 参加団体数は20、参加  
人数は205名でした。今回、集計報告が遅れました  
事をお詫びしますと共に、埼玉県山岳連盟加盟各  
山岳会(部)の皆様の御協力に感謝いたします。

今年度の反省点としては、実施予定コースが長いと  
のご意見もありました、次会から考慮の必要を感じ  
ました。 自然保護委員長 増田 修

-記-

1. 開催期日: 平成30年5月15日~6月30日までの  
間、参加山岳会(部)の都合により開催

2. 場 所: 埼玉県内の関東ふれあいの道及び  
埼玉県立自然公園全域内登山・ハイキングコース

3. 予定コース: 合計21コース

『関東ふれあいの道』

7コース(1~7)

1) 水源のみち、2) 古刹を訪ねるみち、3) 伊豆ヶ岳  
を超えるみち、4) 峠の歴史をしのぶみち、5) 大霧  
山に登るみち、6) 秩父盆地を眺めるみち、7) 義経  
伝説と滝のあるみち

『自然保護委員会・推奨コース』

14コース(8~20)

8) 東吾野駅...長尾坂...天覚山...吾野駅、9) 高麗駅  
...日和田山...北向き地藏、10) 高麗駅...物見山...  
宿谷の滝、11) 鎌北湖周辺、遊歩道周辺、12) 越生  
...無名戦士の墓...大高取山、13) 名郷...大持山...鳥  
首峠、14) 名郷...武川岳...二子山、15) 芦ヶ久保駅  
...丸山...大野峠、16) 生川...武甲山...橋立鍾乳洞、  
17) 永田大杉...多峯主山...天覧山、18) 円良田湖  
周辺・鐘撞堂山周辺、19) 仙元山...周辺、20) 馬上  
...牛首峠...観音山、21) 小鹿野町二子山周辺

### 【参加山岳会名・順不同】

壁稜山岳会, TEAM やまあるき, 蓮田山岳会, 川越  
山の会・五十雀, 桜草山の会, 草加山の会, 大宮山  
岳会, 川口市山岳連盟、UD・A・C, 川口市登山同好  
会, 東部登高会, 大宮アルパインクラブ, エー山の会, 毛  
呂山山岳会, 深谷山岳会, 大宮岳稜会, 加須市山  
岳連盟, 川越山岳会, 浦和西岳友会。

重複含めて20団体

※本報告は掲載用ダイジェスト版・正式報告書は  
自然保護委員会から近日発行。参照下さい。

広報委員会

6. 閉会挨拶 (相澤副会長)

はなたに やすひろ  
「花谷 康広」山岳講演会

講演テーマ 「遥かなる高峰めざして」

主催：埼玉県山岳連盟 海外登山委員会

開催場所：大宮ソニックシティ 509 号室

開催日時：11 月 13 日(火) 18:30～21:00

入場無料・先着 60 名

略歴：ガイト「First Ascent」主宰者、  
甲斐駒・七丈小屋経営、日本山岳ガイド協会認定  
登攀ガイト、第 21 回ピロトル受賞等

問合せ先：山際 yama812591@yahoo.co.jp



## 第 16 回日本山岳文化学会大会

主催：日本山岳文化学会

開催期日：11 月 17 日(土)～18 日(日)

開催場所：港区東京慈恵医科大 高木 2 号館講堂

① 17 日 9:00～ 一般口演・ショートスピーチ

「山岳文化に関する 21 テマの発表会、招請講演：  
樋口 明雄氏「山岳救助犬の導入に向かって」  
※同氏のサイン本販売があります

② 18 日 9:00～ シンポジウム テマ「遭難と情報」

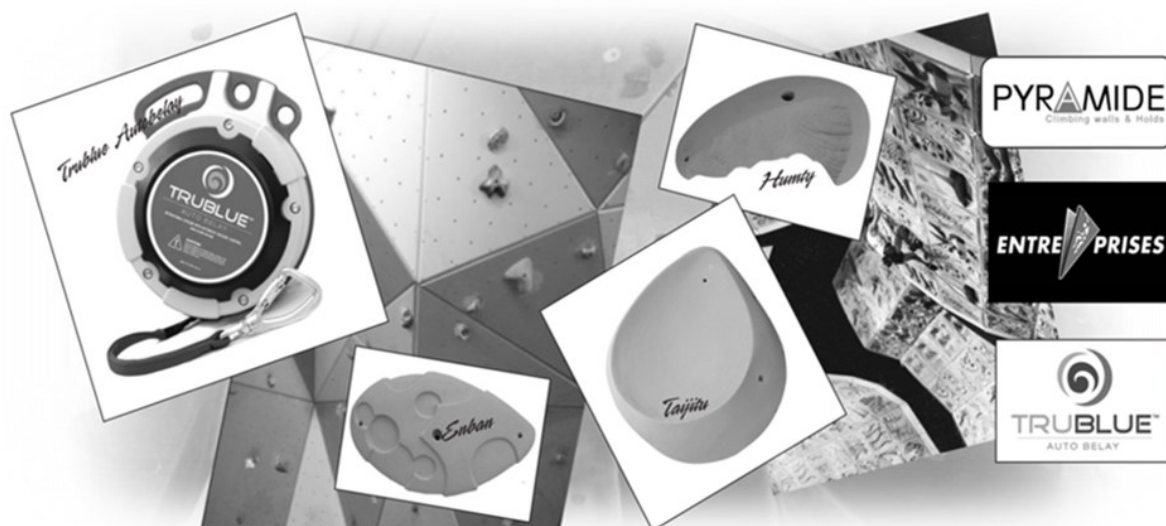
(日本山岳文化学会員)を除く県岳連関係者は

入場無料・予約不要です。 [www.jamc.gr.jp](http://www.jamc.gr.jp)

## 彩・岳悠会「登山教室」を取材して

10 月 3 日実施された彩・岳悠会主催「登山教室」の開校式と 1 回目の講座を戸田市新曽福祉センターで取材した。開校式には後援の県岳連天野理事長が挨拶し、講座は石井 祐一 大宮店・早川主任(写真)による登山用具の選択方法、メンテナンス方法等を懇切に説明。戸田市報による応募者と会員の 25 名が参加、質問にも丁寧に答えられて大変好評。今後 4 回の講座予定あり、一単会による安全登山の普及活動に大いに期待し、岳連としてこの活動をさらに支援するように PR したいものです。

広報 岩井田正昭



### 取り扱い製品

- ・クライミングウォール  
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド  
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートベレイシステム  
TRUBLUE

クライミングウォールの設計、施工と  
ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

## ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5

Tel: 042-980-5650 Fax: 042-971-6780

URL: <http://pyramide-japan.com/>

Mail: [pj-info@pyramide-japan.com](mailto:pj-info@pyramide-japan.com)

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

# ALP K2®

**自** 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。

医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。



**季** 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



**登** 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携  
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

## ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を  
取得致しております